

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年4月2日

事業所名 放課後等デイサービス事業所じゃんぷ

保護者等数（児童数） 17 回収数 17 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17			活動ごとのスペースが確保され、落ち着いて活動できる。子供達に分かりやすくスペースが区切られずこしやすいと思う。	基準上、指導訓練室は42.6㎡あり、その他にも活動エリアを有しているため療育等に支障ありません。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	2		配置数は十分配慮して頂いています。子どもの反応に対しての先生の対応が良く、安心して通える。すべての先生方の専門はわかりません。適切なアドバイスなどもしてもらえ助かっている。	配置数については基準を満たしており、発達支援のための人員も確保できています。経験のある職員を配置して専門性を確保していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で研修が十分にできずにスキルアップの機会が少なかったため、来年度以降は研修の機会を設けていきます。新しく入ったパートスタッフや一部の兼務スタッフの専門性をあげることも課題なので、研修等で専門性をあげていく取り組みを
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17			バリアフリー化されている。	入口、トイレ等、全館バリアフリー化されています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17			職員さんとしっかり話し合い、計画を立ててもらえる。細かく状況をみていただいていると感じる。子供も落ち着いて活動できている。	保護者との面談や普段のお迎え時でのやり取りなどで保護者のニーズや課題を把握するようにしています。また、毎日の支援の振り返りや定期的なミーティング、個別支援計画検討会議などで支援内容について分析・検討しながら放課後等デイサービス計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17			作業の内容を発達状況・実態、将来の姿を描き、適宜変更の有無を突っ込んで話し合う必要があると思いましたが、任せっぱなしになっていたので…。ひとつの目標がうまくいけば次の目標へ対応を変え、スモールステップを出来る。見通しがつきやすいように、スケジュールの内容が固定化してしまうことはありますが、落ち着いて過ごしているようです。少しずつ活動内容が広がったと思います。	放課後等デイサービス計画に沿って、個々の活動プログラムを組み立てており、子どもの状況や課題に応じて、適宜活動プログラムを改善するようにしています。一度活動プログラムを組むと平日は活動内容が固定化されやすいので、半期ごとの計画作成時にプログラムを見なおしたり、休日開所時に普段できない活動を行うなどの工夫をしています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	12	必要性を感じない。この項目は理想はそうですが、現実的ではないと感じます。単発で出会うも場だけの共有は難しいからです。コロナ禍ではできません。交流することが難しい所があると思います。	それぞれの特性に合わせた発達支援を行っており、現段階で放課後児童クラブや児童館との交流を目的とする利用者がいないために実施していません。今後、発達支援のうえで交流が必要と考えられる利用者がいる時には機会の確保などを検討します。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1		利用開始時や活動内容に応じ説明して頂ける。丁寧に説明していただいている。	支援の内容については、お迎え時に毎回の様子を伝え、面談時に支援について詳しく説明しています。また、利用者負担等については契約時に必要な説明は行っていますが、今後も分かりやすい説明を心がけます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17			迎え時や学校での支援会議でタイムリーに共通理解に努めています。連絡帳以外にも、帰る際に話を聞くことが出来る。共通理解はよくできていると思う。	お迎え時に毎回の様子を伝えたり、面談時に子どもの状況や課題について伝えたり、保護者から情報をもらって共通理解しています。また、保護者から希望があった時には面談を開催して子どもの状況や課題を共有し、学校や医療機関が主催する支援会議等に参加して情報共有しています。今後も引き続き保護者との共通理解を進めていきます。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17			今年度はコロナ対策の為、電話での対応でしたが、収束後は対面の方がより深く話せるので、そちらを望みます。 個別のスケジュールボードを作成して頂き、子育ての悩みが一つ解決しとても助かった。	個別支援計画の作成に向けた面談を定期的に開催し、必要に応じて保護者に対して助言等を行っています。上半期はコロナの影響で電話での面談でしたが、下半期は直接面談を実施することができました。また、定期的な面談だけでなく、保護者の希望に応じて面談を実施して必要な助言を行っており、今後も引き続き面談等を実施していきます。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7	7	例年、年に2回程実施されていますが、今年度はコロナでできていないのかなと思います。 コロナが収束したら開催してほしい。 保護者会は1度参加させて頂いた。今はコロナで難しい。	毎年、茶話会を開催して保護者の勉強の機会や交流の機会を作るようにしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら開催を検討します。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	5			今までないのでわからない。 苦情はない。 これまで苦情などなかったのだからわからない。	法人として苦情受付の体制を整備し、契約時の重要事項説明書に明記して周知しています。これまで苦情はありませんが、もし苦情がある場合には迅速かつ適切に対応します。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17				子どもも思いにもしっかり対応して頂いている。	連絡帳を活用したり、お迎え時にやり取りをして、保護者と分かりやすく意思の疎通を図るようにしています。また、面談時等に場所やツールを見てもらう機会を作って分かりやすく伝えるようにしています。今後も引き続き意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	3			自己評価の結果は紙面であつ説明もされていました。対面だとその課題をどう解決するか知れるので、やはりできれば対面を望みます。 行事予定など事前に計画して下さるので助かってます。	法人の会報を毎月発行し、事業所での掲示、ご利用者自宅への送付を行っています。また、ホームページも随時更新しており、自己評価表についてはホームページに掲載しています。今後も引き続き会報やホームページ等で発信していきます。
14	個人情報に十分注意しているか	16	1				個人情報取り扱い同意書に基づいて個人情報の取扱いについては十分に注意していますが、今後も引き続き個人情報の取扱いには注意していきます。	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	5			策定されています。周知説明は、あつたような、忘れていたのか…なかったような…。感染症対応マニュアルがあり、分かりやすい。	各種マニュアルを作成して玄関に常設しており、いつでも見てもらうことができるようになっています。今年度は茶話会などがなく、直接説明する機会がなかったため、今後は常設と併せて、茶話会などの機会があれば周知・説明していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	8	1		あつたような、なかったような…。訓練時の様子が記録に残っているといいかもです。何が苦手、課題など次に活かせる。	ライフサポートセンターとして定期的に自衛消防訓練を実施しています。今後とも定期的に自衛消防訓練を実施していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17				楽しみにしています。 楽しみにしているように感じる。	
	18	事業所の支援に満足しているか	17				特に、個別対応下さっているところと、長期休暇中や土曜日に普段できないことを個別に計画して下さっているところ。満足です。これからの成長が楽しみです。 適切な支援をしていただき満足しています。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。